

安全報告書 (2016年)

富士見パノラマリゾート

富士見パノラマスキー場 Gondola リフト
富士見パノラマスキー場 第1ペアリフト
富士見パノラマスキー場 第2ペアリフト
富士見パノラマスキー場 第3ペアリフト
富士見パノラマスキー場 第4ペアリフト
富士見パノラマスキー場 第5ペアリフト
富士見パノラマスキー場 第6ペアリフト



快晴のキッズパークより八ヶ岳連邦を眺める

2015年度 索道事業安全報告書

1. 利用者の皆様へ

日頃より、富士見パノラマリゾートのご利用と索道事業に対し、ご理解いただきまして誠にありがとうございます。

当スキー場はスキー場事業理念におきまして、お客様の「安全確保を第一」に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送を最大限に努めております。

2016年度につきましてもご来場頂いた皆様が安心してご利用して頂けるよう、全従業員一丸となって輸送の安全確保に努める所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解を頂くために公表するものです。

一般社団法人 富士見町開発公社

理事長 小林 一彦

2. 安全基本方針

当スキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ理事長及び従業員全員に周知、徹底しております。

- 1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱を行うこと。
- 5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- 6) 情報は常に漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- 7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

3. 索道運転事故発生状況

(1) 索道運転事故

2015年度、索道運転事故の国土交通省への報告はありませんでした。

(2) 災害(地震・暴風・豪雪など)

強風、雷、豪雪等による運行停止は、安全確保のため状況により実施いたしました。

(3) インシデント(事故の前兆)

2015年度、インシデントの国土交通省への報告はありませんでした。

4. 安全確保のための取組

1) 安全重点政策

当スキー場では、安全重点施策として年間、中期3ヵ年、長期の整備計画を作成し実行しております。

2015年度の主要整備実施項目として

索道名称	整備項目
ゴンドラリフト	ゴンドラ索条切詰め工事
	山麓押送装置用モータ交換工事(2台)
	握索装置オーバーホール、探傷試験、耐滑動力試験 等 (14台)
	支柱索受整備工事・索受けビーム更新(No9A、9B、9C、9D、11、12号支柱)
	山頂山麓高圧盤電気部品改修工事(VCB、OCR、CT等)
	山麓山頂駆動盤、制御盤電気部品改修工事(NFB、MCB、MGs、リレー等)
	山麓サイリスタ盤電気部品改修工事(ファン、抵抗器、コンデンサ)
	山麓予備エンジン、山麓山頂予備発電機点検整備工事
第1ペアリフト	折返し滑車整備工事、油圧ユニット整備工事、常用ブレーキ交換工事、索受け装置点検整備 全支柱・折返し設備塗装工事
第2ペアリフト	山頂ステージ床板張替え工事、全支柱・折返し設備塗装工事、索受け装置点検整備
第3ペアリフト	全支柱塗装工事、搬器座面交換工事、索受け装置点検整備
第4ペアリフト	全支柱・折返し設備塗装工事、索受け装置点検整備
第5ペアリフト	原動設備整備工事(モータ、減速機、制動装置、油圧ユニット、緊張油圧シリンダー)
	全支柱・原動・折り返し設備塗装工事、索受け装置点検整備
第6ペアリフト	全支柱・原動設備塗装工事、折返し滑車整備工事、索受け装置点検整備

共通整備事項：各支柱点検整備、索輪交換、他通常整備実施 受電設備の点検・検査
等を自社、メーカーと共に点検整備しました。

2016年度の整備としまして

☆ゴンドラリフト 支柱索受整備工事、握索装置オーバーホール、折返し滑車整備工事
山麓山頂電機設備改修工事、山麓受電引き込みケーブル改修工事
全支柱点検整備

☆ペアリフト 各リフト支柱索受け点検整備、第2、3、4ペアリフト握索機オーバーホール
第1ペアリフト握索機更新、座面更新
第4ペアリフト原動設備整備工事
第5ペアリフト折返し滑車整備工事、折返しステージ床板張替え工事

以上、整備・工事等を予定しております。

2) 人材教育

当社では、お客様の安全確保に役立つよう臨時を含む従業員が応急手当普及員、
普通救命講習を取得しています。

シーズン前に社内にて東急グループ主催の社員研修を行いました。

北陸信越山岳観光索道協会主催の索道技術研修会に参加(3名)しました。

日本ケーブル株式会社主催のテクニカルセミナーに参加(1名)し、技術の向上に役立てています。

北陸信越索道協会長野地区部会主催の索道技術研修会に参加(2名)しました。

索道従業員を対象とした、東急グループスキー場の技術管理員合同研修会に参加(2名)
し、索道施設の保守・点検、整備技術の向上に役立つ講習に参加しました。

北陸信越運輸局主催の安全統括管理者会議に参加(2名)しました。

北陸信越運輸局主催の運輸安全マネジメントセミナーに参加(1名)しました。

北陸信越運輸局主催の索道技術管理者研修会に参加(2名)しました。

長野県索道事業者協議会主催の事故防止研修会に参加(3名)し事故防止に努めています。
その他、安全衛生教育、講習等受講しております。

3) 訓練

当スキー場では、お客様の安全確保に役立つよう2008年より、富士見消防署とスキー場との合同救助訓練(年2回)、他のスキー場との広域救助訓練を実施し致しております。

本年度は4月、11月に当スキー場にて合同救助訓練を実施しました。

また、冬期雇用従業員、スキー場スタッフについては冬季営業前、シーズン中頃に特殊索道の救助訓練を実施しました。

普通索道の従業員については、予備原動による救助の訓練、電気部品故障時を想定した復旧訓練、実救助訓練を年8回実施しました。

サマーシーズン前の消防合同救助訓練



ゴンドラ 訓練状況



ペアリフト救助訓練



訓練状況



ウィンターシーズン前 消防合同救助訓練



ゴンドラ 訓練状況



救助用具の動作確認



救助用具の説明

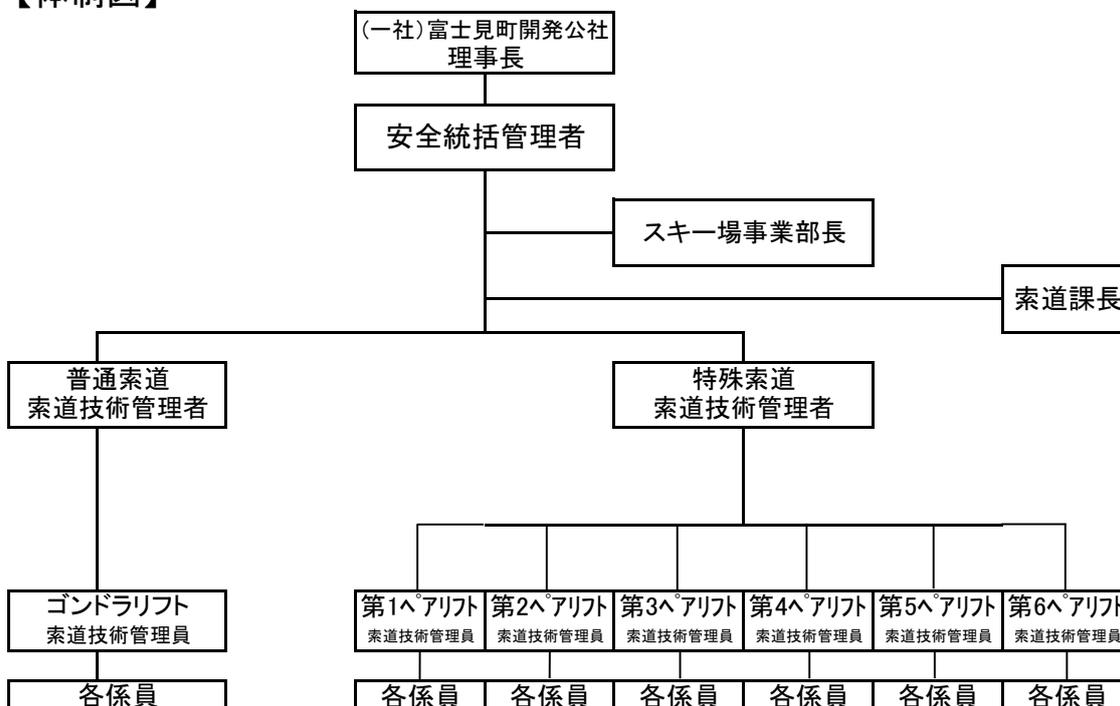


5. 安全管理体制図

2006年10月に「安全管理規程」を制定し、理事長をトップとする安全管理体制を構築しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

理事長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者	索道事業の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理 その他技術上及び教育訓練等の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮のもと、索道技術管理者の行う業務を補助する。

【体制図】



6. その他の事業活動

普通索道を運行しているスキー場と救助体制の連携を取るため救助訓練の実施および視察、更に諏訪広域消防、茅野警察署と合同救助訓練を実施しております。

索道の運行に関わる安全総点検、管理者の巡回、また定期ミーティングの実施やヒヤリハットの抽出、改善も実施しております。

7. 終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ、努力しております。次シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用頂けます様に、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、努力致します。この報告書を2015年度の安全報告書とさせていただきます。